



よくある質問 (子供と成人に共通項目 編)



患者様からの御質問

治療時の麻酔が効きにくい体質ってあるのでしょうか？自分はその体質かもしれないと言われたことがあります。詳しく教えてください。



当院からの回答

麻酔の効き方は麻酔をする部位の骨や歯や歯の周囲の状況によります。体質というよりは、骨の厚みや炎症の程度や脂肪の程度などもう少し細かい状況により変化します。詳しくは、治療の際に歯科医より説明致します。

患者様からの御質問

体調が悪い時、疲れた時に歯茎が痛くなることがあります。これは歯周病と関係があるのでしょうか？



当院からの回答

風邪をひいたり、極度に疲れている時などは全身の免疫力が低下する為一般的に細菌が増殖し易くなります。歯周病菌も同様で、歯茎が痛くなるのは歯周ポケットの中で歯周病菌が増殖し歯肉を攻撃しているからなので、歯周病ケアがその治療となります。

患者様からの御質問

野菜ジュースは体にいいのでどんどん飲んでも大丈夫ですか？



当院からの回答

市販の野菜ジュースは糖分を含んでいる製品が多く、むし歯の原因になると指摘されています。ご家庭で果物のみでお作りになったジュースなら多少多く飲んでも構いませんが、いずれにしてもバランスのとれた食事が健康の為に必要となります。

患者様からの御質問

歯の治療は回数が多くかかることが多いのは何故でしょうか？



当院からの回答

歯の治療は痛みがない状態を確認してから次の治療へ進むことが多く、また、型取りして模型上で作製する物があり、回数がかかることが多くなります。また特に奥歯の治療などでは患者様がお口を開けている時間に限りがあることが治療回数が多くなる理由になります。

患者様からの御質問

ホワイトニングは後戻りしますか？また、どの程度の期間で後戻りしますか？



当院からの回答

ホワイトニングの効果は個人差があります。その理由は歯の性質に個人差があるからです。一般的に1年以内に後戻りすることが多いです。

患者様からの御質問

根の治療をすると歯が弱くなると聞いたことがありますが、本当でしょうか？



当院からの回答

一般的に歯の神経の治療をすると歯は割れやすくなります。割れ方、割れる方向、割れる部位によってはその歯を抜歯しなければいけなくなる場合もあります。従って、根の治療（神経の治療）をすると歯が弱くなるというのは本当のことと言えます。

患者様からの御質問

1回目の根の治療と2回目以降の根の治療は歯のおかれている状況が異なると言われたのですが、それはどういう意味でしょうか？



当院からの回答

歯は根の治療をすると弱くなり、割れ易くなります。1回目の根の治療の際はそれまで神経があったので割れにくいといえますが、2回目以降の神経の治療では割れ易い歯での根の治療となります。その結果、割れてしまうこともあるので1回目と2回目以降の根の治療は全く条件が異なると言えます。

患者様からの御質問

歯の再生治療について教えてください。



当院からの回答

歯の再生については現時点では動物実験においてのみ、かつ限られた条件下でのみ可能となっています。ただ、歯の形態などに関する謎が解けておらず、実際に人間の歯に応用するまではかなりの時間を要することが予想されています。

患者様からの御質問

唾液腺の再生治療について教えてください。



当院からの回答

唾液腺の再生治療については、まだ臨床応用へはほど遠い状態です。唾液腺の機能を維持する為に必要な因子はわかり始めているので、今後それらの因子を利用した薬剤などあるかもしれません。

患者様からの御質問

歯の間によく食べ物が詰まります。何故ですか？



当院からの回答

原因はいくつか考えられます。単純に歯の間にむし歯があることが原因にもなりますが、歯の間の形態が何らかの理由で正常ではない場合が多く見受けられます。詳しくは歯科医師へ御相談ください。

患者様からの御質問

歯の神経を除去した後に歯が痛くなるのは何故ですか？



当院からの回答

基本的に歯の神経がなければ歯は痛くなりませんが、歯の周囲の歯肉の神経は生きているので、神経の治療の際に根の先を触っていることから治療当日は少し違和感がでることがあり、その感覚は人によっては『痛み』とを感じる方もいらっしゃいます。

患者様からの御質問

むし歯ではないのに水などで歯がしみるのは何故ですか？



当院からの回答

むし歯がない状態で水で歯がしみることは『知覚過敏』が考えられます。知覚過敏とは色んな状況で神経がお口のなかに曝される状態になると起こることがあります。詳しくは別紙をご覧ください。院長まで御質問ください。

患者様からの御質問

歯をぶつけたことがあります
が、その歯が最近変色し
てきました。何故ですか？
また、どのように治療したら
いいのでしょうか？



当院からの回答

歯をぶつけると、ぶつけた
時の衝撃で歯の神経が出
血していることがあります。
出血が歯の中にしみ込むこ
とで血の色が歯に滲むこと
になります。その結果、歯が
変色したように見えること
になります。外傷による歯の変
色が認められたら、根の治
療をすることになります。

患者様からの御質問

むし歯や歯周病が体の病
気を悪化させる可能性があ
ると聞いたことがあります
が、それは本当ですか？



当院からの回答

高齢者など飲み込む能力
が低下した方は誤って肺の
方へ飲み込み肺炎の原因
になることがあります。また、
歯周病が多い方ほど、糖尿
病や心臓血管疾患のリスク
が高くなるとされています。

患者様からの御質問

歯の修復物はどのくらいもちますか？



当院からの回答

一般的にこれくらいもつという平均的なものはありますが、『修復物の寿命』は患者様の生活習慣に大きく影響します。ここでいう生活習慣とは歯磨きの習慣、食習慣、喫煙習慣などで、これらの状況で修復物の寿命はかなり変わってきます。詳細はスタッフまで御質問ください。

患者様からの御質問

歯の茶色い部分はむし歯ですか？



当院からの回答

茶色の部分がむし歯であることもありますが、茶色＝むし歯という訳ではありません。食べ物や飲み物により歯が茶色に着色することもありますし、外傷により茶色に変色することもあります。まずは歯科医を受診し茶色の原因について確認する必要があります。

患者様からの御質問

炭酸飲料ばかり飲んでいたらむし歯ではなくても歯が溶けると聞いたのですが、本当ですか？



当院からの回答

むし歯が歯を溶かす機構は、諸々の条件が整った時にむし歯菌が『酸』を産生するからであり、科学的には酸が存在すれば歯は溶解します。『酸』の存在とは、炭酸飲料や酸を多く含む食品、胃酸など様々です。酸で歯が溶ける場合、むし歯ではありませんが、むし歯と同様に削って詰めるなどの治療が必要になります。

患者様からの御質問

結婚式や引っ越しなど、予め決まっている予定に合わせて治療を進めることができますか？



当院からの回答

患者様のご予定は最大限考慮し治療予定をご提案させていただきます。結婚式や引っ越しは勿論その他様々な事情がございます際にはスタッフへご相談ください。

患者様からの御質問

歯並びが悪いことは病気
ですか？



当院からの回答

矯正治療は原則的に私費治療ですので、厚生労働省つまり国の考えでは『歯並び』は『個性』であるという位置づけとっていいと思います。顔や性格のように人其々という考え方です。一部の保険治療が適応される矯正治療については『病気』と捉えて治療を行っている場合もあります。

患者様からの御質問

歯並びが悪いと何が困りますか？



当院からの回答

歯科的に困ることは適切な歯ブラシが行いにくいことが挙げられます。もっと現実的なことでは見た目ということも言えますが、これは『個性』という考え方もあるのでそれぞれの判断になると思います。

患者様からの御質問

口内炎がよくできます。何に注意すればよいのでしょうか？



当院からの回答

口内炎のはっきりとした原因は現在のところまだ解明されていませんが、複数要因であると言われています。まずはお口の中を清潔に保つ事と全身の免疫力が向上するような環境を心掛ける必要があります。

患者様からの御質問

歯がなくなると、隣の歯や噛む相手の歯が動くというのは本当ですか？



当院からの回答

歯は歯を支える骨に支持されていますが、隣の歯がない状態や噛む相手がない歯は容易に移動します。隣の歯がないとその歯は歯がない方へ傾斜し、噛む相手がない歯は他の歯より上下方向へ移動します。そのことが治療の妨げになることがあります。詳細は院長まで御質問ください。

患者様からの御質問

根の治療の際に、仮の蓋をしない時がありました。その時の説明がよくわからなかったので、教えてください。



当院からの回答

根の治療は根の周囲にたまった膿を消失することを目的にしていますが、膿が多いとき(炎症が強いとき)は仮の蓋をすることによって根の内圧が上昇し強い痛みになることがあります。唾液中の細菌による根の中の汚染を考慮するとごく短期間に留めるべきですが、止むなく仮の蓋をしないことがあります。

患者様からの御質問

外傷を受けた歯は数年後に影響がでると聞いたことがあります。具体的に教えてください。



当院からの回答

外傷を受けた歯は歯と歯の周りの組織にダメージを受けています。そのダメージが受傷数ヶ月後に明らかになることもあれば、数年の時間をかけて生じる悪影響もあります。具体的な症状やそれが起こる時期については当院作成のパンフレットをお読みになるか、院長スタッフへ御質問ください。

患者様からの御質問

口腔アレルギー症候群って
なんですか？詳しく教えてください。



当院からの回答

口腔アレルギー症候群とは生野菜や生果物を食べた際にお口の中がかゆくなったり、いたくなったりする状態を言います。医科の先生がよく使用する言葉ですが、歯科ではもっと細かくアレルギーを分析することがあります。詳しくは、院長へ御質問ください。

患者様からの御質問

抜歯の時の痛みのピークっていつですか？ずっと痛みが続くことがありますか？



当院からの回答

歯を抜いたり歯肉を切開したりといった外科的治療に伴う痛みは『その日の夜中』が痛みのピークと言われて言います。勿論個人差はありますが、一般的には手術の次の日の朝には痛みが治まり始めていると言われて言います。ただし、感染などの予後不良因子が存在する際は痛みが増悪することがあります。

患者様からの御質問

歯を削る時に出てくる水は清潔と言い切れるのですか？



当院からの回答

歯を削る際には必ず水が必要になります。それは歯を削る際には熱が生じるのでそれを冷ましながら歯を削る必要があるからです。その水が清潔か、色々な研究が行われていますが、結果は全て『清潔ではない』です。当院では欧州基準の衛生管理で全ての水を清潔に保っております。

患者様からの御質問

歯を削るときの風はどこからきているのですか？また、あの風は清潔な風ですか？



当院からの回答

歯を削る道具に関する風は歯科医院に必ずある機械室の中の風です。つまり、ふつうの風です。それを清潔か否かは色々議論があると思います。ただ当院の『風』は食品衛生でも高品質のHACCPに適應する基準の風を専用フィルターにて実現しております。詳細は院長に御質問ください。